

平成29年度 北海道標津高等学校の教育

～ 生徒・保護者・地域が“行きたい”“通わせたい”と思う「魅力ある学校」を目指して～

校訓

求道自琢

真理を求め、努力して己の学徳をみがく。

仁愛恭儉

人を慈しみ、敬意をはらい、己の言動を慎む。

実践躬行

熟慮して正しい決断をくだし、己の行為を断行す。

教育目標

社会の有為な形成者としての資質を養うため

- 1 自らを啓発し、目的に向かってやり遂げる生徒の育成
- 2 人を敬愛し、豊かな心を持つ生徒の育成
- 3 心身ともに健康で、正しく判断し行動できる生徒の育成

◇ 教育課程編成の方針

- (1) 学習指導要領に則り、生徒の状況、地域や保護者の期待を踏まえた教育課程を編成し、生徒にとって魅力ある授業づくりに努める。
- (2) 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた類型を設定することで、生徒の自己決定による意欲の高い学習集団づくりに努める。
- (3) 特別活動の趣旨に基づき、生徒が主体となり生き生きと活動できる行事づくりに努める。

◇ H29重点目標・・・今年度はどんな教育を重視するか。

- 1 学ぶ喜びを実感させ、学ぶ意欲を喚起する。
- 2 自らを律し他者を思いやる心と行動力を育てる。
- 3 一人一人の将来の夢や志、目標の実現を支援する。
- 4 自他の生命を大切に、自ら心身を鍛える態度を育てる。

【平成29年度 テーマ】 「芯が強く心優しい生徒」

★校訓、教育目標（校訓の翻訳）をまとめた。
※ H25・26の「タフ」が含む「ソフト」な面を外に出した形

【H29経営方針】・・・目指す教育像

- 1 地域からの負託や支援に応え、地域に信頼される学校づくりに努める。
- 2 一人一人の生徒の心に迫る教育実践に努める。
- 3 自立する力と自信を持たせるため、生徒が自ら企画・立案・運営する機会を多く設ける。
- 4 研修の一層の充実により、職員の資質・力量及び教育の質の向上を図る。
- 5 職員相互の信頼による組織的な協働実践に努める。

【H29 組織テーマ】

「魂を込める」

～「何のため」を意識した意義ある実践～

◎ 重点目標実現のための3つの柱（目指す学校像 ～潜在力が開花し、一人一人が輝く～）

生徒一人一人の学力を
伸ばせる学校
～学びが輝く～

将来の夢、希望の進路を
実現できる学校
～未来が輝く～

豊かな人間性を培い、規律ある
生活を送れる学校
～笑顔、汗、涙が輝く～

重点目標具現化の方策

- (1) 多様な学力・進路希望に対応し、地域の特性を生かした教育課程の編成・実施
ア 3類型による「個に応じた教育」「特色ある教育」の実践（H29年度第1・2学年（新カリ））
イ シラバスに基づき、言語活動等により、思考力・判断力・表現力を高め、生徒の主体性を育てる教育活動
ウ 基礎・基本を定着させる親身で粘り強い指導
エ 習熟の高い生徒の学力をさらに伸ばす指導
オ 地域の教育力・環境を生かした特色ある体験活動
※ 自然・環境、歴史・文化、産業
- (2) 学力向上のための指導方法・内容・形態の工夫
ア 「標高 学びのサブリ」の徹底
イ 学習意欲を喚起し、生徒が主体的に協働し、課題解決を図る授業形態の研究・実践
※ 教科の魅力を熱く語る授業
※ ALの研究・実践
ウ TTや習熟度別・少人数授業、個に応じた授業形態・内容の工夫・改善
エ 検定試験、資格試験の受験促進及び受験対策指導
※ 年間スケジュールの生徒・保護者への明示
オ 家庭学習習慣の定着（課題の内容、回数、量の工夫）
カ 授業評価（生徒による評価を含む。）や授業公開、授業研究、出前授業などを通しての授業改善
キ 授業時数の確保（年間計画の工夫等）
ク 小・中学校、他校、関係機関と連携した授業研究
※ 道立高等学校間連携
ケ e-ラーニングの効果的活用

※ 個々に潜在する学力を掘り起こす。

- (1) 「3年間のキャリア計画」に基づく組織的、計画的、継続的な取組
ア 日々の教育活動における、将来の在り方生き方を考えさせ、基礎的・汎用的能力を高める指導・助言等
イ 総合的な学習の時間、LHRにおける進路学習、進路行事等の充実
※ キャリアアップday、インターンシップ、進路講話、面接指導等
ウ 自校教員及び外部講師によるガイダンス
※ 保護者対象説明会を含む。
エ 校外説明会、オープンキャンパスへの参加促進
オ 進路情報の提供
※ 『進路指導部通信』等
カ 進路相談（個人面談）
キ 最新情報の収集
※ 新聞、業者情報、研修会等
- (2) 進路希望実現のための指導・支援
ア 基礎・基本の徹底
※ キャリア週間、基礎学力コンクール等
イ 夏季休業中「就職ガイダンス」、「就職希望者登校指導」
ウ 就職希望者、推薦受験者等への模擬面接等
エ 進学希望者への進学講習、模試受験指導（前後の指導を含む。）、「スタディサブリ」指導、勉強合宿
※ 一般受験対応の強化
オ 勉強倶楽部指導の充実

※ 個々に潜在する将来の望みの実現を支援する。

- (1) 基本的生活習慣が身に付き、自ら律する態度の育成
ア 時間厳守、身だしなみ、環境美化、礼節
イ 悩みや課題を抱えた生徒に対する統一した指導・支援
- (2) 自ら考え、判断し、他者と協働する態度の育成
ア 授業における主体的・協働的な学び
イ 行事等における生徒が主体的に参画する機会の設定
※ 宿泊研修・見学旅行の班長会議、インターンシップ報告会、各種講話などにおける司会、運営、謝辞等の代表やリーダーを経験する機会の設定
ウ 生徒会活動、HR活動、部活動の活性化
※ 充実感、達成感、自己肯定感の醸成
※ 学業との両立による人間力の向上
- (3) 健やかな心身の育成
ア 挨拶運動など、地域貢献活動の推進
イ 赤ちゃん触れ合い体験、高齢者疑似体験等
ウ 健康教育の推進及び保健管理
※ 「保健だより」、薬物乱用防止教室等
- (4) 共感的な人間関係づくりと適切な指導
ア 開発的、予防的生徒指導の推進
※ 宿泊研修時の構成的グループエンカウンター等
※ ネットトラブル防止講話等
イ 生徒の心理的事実を受容し、客観的事実に対して、自立を促す「ぶれない・粘り強い指導」
ウ いじめ防止基本方針の徹底
- (5) 特別な教育的ニーズのある生徒への対応
ア 教育相談委員会、学年、教務部の連携による個々の教育的ニーズの共有に基づく指導・支援
イ 研修会への参加及び成果の還元

※ 個々に潜在する人格的資質の向上を図る。

開かれた学校像（情報発信と連携）

土 台

チーム標高として取り組む教職員像

- (1) 本校の教育活動・内容の一層の情報発信、説明・結果責任を果たす取組
※ 各種説明会、広報紙、ホームページ等の充実、マスメディアへの情報提供
- (2) 学校改善に生かす効果的な学校評価の実施
※ 学校評議員等への日頃の情報提供の充実による評価の充実
- (3) 地域や小・中学校、他校、大学、関係機関との連携
ア 標津町・・・教育活動支援、施設活用、小中学校との相互研修、救命講習、高齢者疑似体験、赤ちゃん触れ合い体験等、気象状況連絡等
イ 小中学校・・・授業公開、授業相互参観、研究協議等
ウ 道立高等学校間連携・・・授業研究、TT、研究協議等
エ 事業所等・・・インターンシップ、事業所訪問、進路講話、キャリアアップday等
オ PTA・・・標高祭、強歩遠足、研修会、PTAだより『道標』等
カ 大学等・・・宿泊研修での模擬講義、キャリアアップday、e-ラーニング等
キ その他・・・ブラッシュアップ研修、ユネスコスクールへの申請
- (4) 地域貢献
※ 地域環境調査（水質、鮭遡上状況）、野付半島清掃、ユネスコ・スクールとしてのESD、見学旅行における地元産品の広報活動、各種ボランティア（ボランティア部等）、交通安全運動、挨拶運動、いじめ防止標語・ポスターコンクール参加、交通安全標語コンクール参加、税の作文コンクール参加

- (1) プロ意識、使命感、プライド、服務規律保持、適正な会計認識
※ 常に生徒の先を見通した指導・支援
※ 地域の最高学府の職員であることの自覚
- (2) 生徒の可能性を信じる意識
- (3) 育てる生徒像を目指し、共通理解に基づき実践しようとする意識
※ 「生徒のため」＝「生徒の成長のため」
- (4) 学校課題を明確にし、常に改善しようとする意識
※ 学校評価と課題解決のための方策に基づく計画及び実施
- (5) 自己の課題を自覚し、自己点検、自己評価する意識
※ 『実践集録』原稿作成等
- (6) 社会の変化や教育の動向、今日的教育課題を理解し対処する意識
- (7) 学校経営参画意識
- (8) 常に研修に励み、資質向上を図る意識
※ 視野を広げ、学び続ける教師
※ 校内研修会の充実
- (9) チームで仕事をする意識（組織的・計画的に取り組む意識）
- (10) 潜在リスクを洗い出し、危機管理を徹底する意識
- (11) 地域の一員としての意識
※ 地域行事への参加、BCPの再確認等